

倉庫業企業年金基金

第 24 回理事会・第 17 回資産運用委員会 議事要旨

開催日時：令和 7 年 12 月 12 日 15 時～16 時 30 分

開催場所：倉庫業健保会館

出席者数：出席 9 名、書面参加 4 名、欠席 1 名

1. 事業運営計画と予算

(1) 事業運営の重点事項：

- ① 資産運用：運用リスクの最小化と費用の低減に努める。
- ② 加入促進：未加入事業所への加入促進活動を継続。
- ③ 広報：企業年金連合会のサイトを令和 8 年 3 月末で閉鎖。内製化したサイトに一本化することで、コスト削減と情報発信の迅速化を図る。

(2) 令和 8 年度予算：

- ① 加入者数：6,000 名（前年策定時 5,900 名）
- ② 標準報酬月額：36 万円（前年 35 万 5,000 円）
- ③ 年金経理：令和 7 年度、令和 8 年度ともに過不足なしを予想。
- ④ 業務経理：令和 7 年度 3,196 千円の剰余、令和 8 年度は収入、費用ともに保守的に見積もり、2,102 千円の不足と見込む

(3) 基金事務局の運営継続性

BCP の観点から様々な課題を調査検討した結果を報告した。

2. 資産運用

(1) 運用実績

- ①令和 7 年 11 月末現在で、4.64%の運用実績。
- ②国内株式 (+26.79%)、外国株式 (+25.83%) は好調だった一方、国内債券 (▲1.43%) は金利上昇の影響でマイナスとなった。

- ③一部ファンド（三菱 UFJ 信託「レラティブバリュー」、三井住友信託「ブルーベイ」）は実績が振るわなかった。「レラティブバリュー」は運用上の問題から解約手続き中。

(2) 今後の運用方針（ファンドの見直し）

①新規導入：

(ア) 国内株式: みずほ信託「リサーチコア 21」を 3 億円で導入。

(イ) 外国債券: 三菱 UFJ 信託「PIMCO」を 3 億円で採用。

(ウ) 固定利回り商品: 第一生命の 5 年保証利回り商品（GIC）を最大 5 億 1000 万円で導入。

- ②構成比調整: 短期資産から 1 億 2500 万円を外国債券パッシブへ投資し、構成割合を 10%に戻す。

- ③ファンド解約: 大和証券のマンション特化型ファンドを解約。

- ④商品統合: 日本生命の既存の一般勘定 2 つを、利回りが高い「プレミア 6」に一本化し、16 億 6200 万円のファンドとして運用する。

3. システム移行の検討

現行は総幹事のシステムに依存しており、紙ベースの作業が多く非効率。DX 推進の妨げとなっており、新システムへの移行を検討していることを報告

4. その他事項

- (1) 未収返納金の不納欠損の決定
- (2) 文書取扱規程の変更決定
- (3) 理事長専決事項の報告
- (4) 業務経理の余裕金の運用の報告
- (5) 令和 8 年 5 月の代議員改選について

以上